

2009年度

科目名	基礎ゼミⅡ		
担当教員	宇都宮 啓吾		
配当	日文2	コード	34041
開期	後期	講時	水曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	現代日本語表現について考える		
目的と概要	現在の我々が使っている日本語についてもう一度考え直すことを目指します。我々がどのように言葉を使っているのか、自分なりに説明できるようになってください。		
成績評価法	平常点と課題提出、課題への取り組み方で総合的に評価します。		
テキスト	特に指定しません。適宜、プリントを配布します。		
参考書	特に指定しません。適宜、紹介します。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>演習形式をとります。最初の数時間については、教員の側で日本語を考える上での視点をいくつか紹介し、それに沿う形で講義と発表を行ないます。その後で、みなさんの演習発表へと移ります。発表については、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、問題提起</li> <li>2、問題解決の方法</li> <li>3、問題解決の手続き</li> <li>4、結論</li> </ol> <p>という形で発表を望みますが、まずは、自分の考えを「ことば」にるところから始めてください。失敗も成功への第一歩。とにかく、「考える」ことを習慣づけてください。</p> <p>導入1オリエンテーション演習計画の説明・打合せ</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>事前指導2国語学研究法語彙(意味・用法)位相差(世代や性差) 日本語の変化(資料の用い方)</p> <p>3日本語の変化(資料の用い方) 4日本語の変化(資料の用い方)</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>演習5具体的発表学生による個別発表 6具体的発表学生による個別発表 7具体的発表学生による個別発表 8具体的発表学生による個別発表 9具体的発表学生による個別発表 10具体的発表学生による個別発表 11具体的発表学生による個別発表 12具体的発表学生による個別発表 13具体的発表学生による個別発表 14具体的発表学生による個別発表</p> <p style="text-align: center;">=====</p> <p>まとめ15本演習の総括全体の纏め今後の研究への発展</p>			